

平成28年度自己評価表

鳥取県立岩美高等学校

様式2 中長期目標 (学校ビジョン)	岩美高生としての誇りと自覚を持ち、何事にも「誠実」に対応でき、他者と「協働」して物事に取り組み、夢に向かって「果敢」に挑戦する人間を育成する。
--------------------------------------	--

今年度の 重点目標	1 キャリア教育を推進し、自らの将来について主体的に考える力を養う。 2 部活動を振興し、健康で心身のバランスのとれた人間の育成に努める。 3 多様な生徒に対して、一人ひとりが大切にされていると実感させる。 4 生徒の主体的な学びに喜びを見出し、解決する力、伝える力を身につけさせる。 5 地域と連携した学校づくりに向けて、一層の充実に努める。
----------------------	---

年 度 当 初					評 価 結 果 (2)月			
評価項目	評価の具体項目	現状	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策	
充1 実進 路指 導の	○進路実現のための系統的な指導方法の充実	○進路実現100%を裏打する安定した指導方法が確立・定着しつつある。 ○多様な進路希望の中で第1志望を実現させる果敢な指導が求められる。	○適切な時期に進路学習が行われ、進路実現に結びついている。 ○進路実現100%、2年次末までの進路希望未決定者10%以下。 ○第1志望への進路希望を実現している。	○進路面談や進路セミナーなどの進路学習を学年団との連携により強化し、3年間を見通した系統的な指導方法へ深化させる。 ○個別面談の充実と1クラス複数体制の確立。 ○進学希望者への指導内容を研究し、指導体制をつくる。	○評価アンケートで、進路指導は充実している(保護者)、進路決定に役立っている(生徒)が8割を超え3年間を見通した系統的指導の成果と思われる。 ○3年生の進路実現100%を達成、そのうち第1志望での合格・内定率は85%を超えた。2年生の1月での進路希望未決定者は0%である。 ○進学対策補習や地元国公立大合格プロジェクトにより進学希望者全員の第1志望を実現させた。	A	効果のある取り組みは継続した上で、生徒の進路希望に柔軟に対応し、より質の高い進路実現ができるよう指導内容を研究する。保護者の意識を高める方策を工夫する。	
	2 生徒 指導 の充 実	○基本的な生活習慣とマナーの定着	○服装頭髪再検査者数は前年に比べやや増加傾向であり、身なりに対しての規範意識の育成が必要である。再検査者数は1クラス平均10人である。	○挨拶、返事、服装等のマナーと基本的な生活習慣が身に付いており規範意識を持っている。 ○再検査者数は1クラス平均5人以内になっている。	○全校朝会や服装頭髪検査の実施による校則の徹底指導と、全職員による日常的なきめ細やかな指導を充実させる。 ○家庭、地域との連携を密にとり、生活環境を整える。	○頭髪服装検査の再検査者数は月によってまちまちではあるが、1クラス平均5人以内は達成出来ていない。ただ、これは規程に沿って細かく指導してきた結果と考えることも出来る。どの学年も後半の方が再検査者数は減少しており、指導の成果は表れている。	C	○学年別の平均は1年12.7人、2年9.4人、3年9.3人で、下の学年ほど全職員で手厚い指導を継続したい。
		○豊かな人間関係づくりの推進	○携帯電話等による小さなトラブルが起きている。友人とのメールのやり取りで不安感を感じる生徒も多い。	○携帯電話等に頼らず自分で考え、直接話をする事の重要性を知っている。 ○携帯電話等の使用マナーが身についている。	○生徒会主催の情報モラル研修会等の取組を充実させる。 ○岩美高生としての自覚やほこりを持つよう学校祭その他の行事を企画する。	○1年生は入学前に生徒会主催のケータイ・インターネット研修会を実施。大きな事案は発生していないが、小さなトラブルは起こっている。マナーに関して様々な場面で指導していくことが必要である。	B	○生徒会主催のケータイ・インターネット研修会等の取組を継続して実施する。 ○メディアとの付き合い方に関する生徒対象の講演会を開催する。
		○生徒会活動の充実	○部活動全員加入は昨年度末で達成できている。部活動や執行部の活動をととしての地域交流やボランティア活動が望まれる。	○部活動全員加入を継続し部活動をととして忍耐力や礼儀の向上につながっている。 ○生徒の自主的なボランティア活動や美化活動が行われている。	○部活動を途中で変わる生徒への指導を徹底する。 ○生徒主体のボランティア活動や美化活動を推進する。	○部活動加入率は全校で98.8%であった。(未加入者は1年1人、2年1人) ○関係機関と連携したボランティア活動や、部活動が主体となった除雪等に積極的に参加した。	B	○目標はほぼ達成した。未加入の2人への指導を継続したい。
3 充保 実健 ・人 権 教 育	○個を大切にしたい教育環境の改善	○一人ひとりを理解し支援する方策が教師により様々であり、効果が十分に表れていない。	○生徒にとって学校が居心地のよい場所であり、大切にされていると実感できる。	○授業および教育環境のユニバーサルデザイン化を図る。	○評価アンケートでは、85%以上の生徒が「授業に集中しやすい環境」「授業のねらいと板書内容が明確」であると回答し、保護者の約75%が「一人一人を大切にしたい指導やわかりやすい授業が行われている」と回答している。 ○校内職員研修において、生活満足度アンケートの生徒の困り感等をもとにUD授業のチェックリスト例を作成・周知するとともに、合理的配慮について理解を深め、学校全体で共通理解して取組を進めようとしている。	B	○岩美高版UDチェックリストを作成・活用して効果的な支援を進める。 ○生徒の自己理解・他者理解を促し、自己肯定感が高まるような取組を工夫する。	
4 学 習 指 導 の充 実	○基礎学力の向上	○ワッツ検定全教科の初級合格率は1年末で24%、2年末42%であった。3年末100%は達成している。 ○家庭学習時間は平日で1日平均43分、30分未満の者が57%である。家庭学習が習慣化する必要がある。	○ワッツ検定全教科の初級合格率は1年末で40%、2年末で60%に近づけ、3年末で100%を達成する。 ○平日において1日1時間以上の家庭学習が習慣化されている。	○リスト学習・ワッツ検定の進捗状況を検証し、内容を見直すと共に活用を促進する。 ○学年団と教科担当との連携を密にする。	○ワッツ検定は一部改訂し、3年放課後補習、1・2年基礎力強化補習(長期休業中)を実施した。ワッツ検定初級全科目合格者の割合は、1年18%、2年71%、3年100%であった。家庭学習時間の平均は、平日65分、調査期間157分(昨年144分)であった。また平日30分未満は31%であった。家庭学習1日1時間以上を達成したが、30分未満は依然として多い。	B	○ワッツ検定合格率が向上するよう、今後も教科と学年団で連携して補習等に取り組む。 ○家庭学習時間が少ない生徒への方策を工夫する。	
	○学習指導の改善	○生徒の実態を踏まえた授業の工夫がなされているが、苦手意識がぬぐいきれず一層の学ぶ意欲が求められる。	○授業をととして生徒自身が成長していることを実感し、学ぶ喜びを感じている。	○生徒が主体的・協働的に学ぶ授業の実践を促進する。 ○公開授業や研究授業月間を活用して、学習指導のあり方についての情報を共有する。	○協同学習のUD化職員研修会、UDに関する職員研修会を行い理解を深めた。11月を公開授業月間とし、アクティブラーニング応援カード等を用いて情報を共有した。他校の研究授業等への参加職員数は延べ18人である。 ○生徒アンケートでは、88%の生徒が「授業のねらいや板書が分かりやすい」について肯定的回答。また、授業アンケートでは70%生徒が「興味・関心がわき、学びたいと思った」について肯定的回答であった。	C	○今後もUD化やAL等の校内研修会、公開授業月間を実施し、他校の研究授業等への参観を促進する。 ○全ての生徒に分かり易い、学ぶ意欲が向上する授業へと改善を研究する。	
5 開 か れ た 学 校 づ く り の充 実	○地域と連携した学校づくりの推進	○「ジョー」1、2での学習をととして岩美町の関係者や専門家の協力を得た学習が展開できた。生徒の側からの働きかけやその他学校からの発信やPRは充実させる必要がある。	○生徒が地域と連携し貢献する活動に意欲的に取り組んでいる。 ○感謝と支え合いの心を持って、地域に貢献していこうとする精神が育っている。	○「ジョー」3での活動において、地域連携の方策を研究する。 ○岩美高生が学校外で提言、発表等を行う機会を作る。 ○ジョーの活動を、総合的な学習の時間で引き継ぐカリキュラムを編成する。	○「ジョー」3において地域と連携した活動を推進し、地域に貢献しようとする心を育成することができた。 ○科学実験教室(6/26、環境大)、高校生ジョーキャンプ(2/11、砂丘)等の様々な機会を設定した。また、授業や部活動でも地域に出て交流する機会を持つことができた。 ○第2学年以下でも地域と連携し貢献する活動を推進すべく、「ワッツ・ミッション」の計画を立て実施している。	B	○「ジョー」実践の蓄積を生かしつつ地域連携をより深められるよう「ワッツ・ミッション」を工夫する。 ○「ワッツ・ミッション」の継続的実施を可能にするための体制を整備する。	

評価基準 A: 十分達成 B: 概ね達成 C: 変化の兆し D: まだ不十分 E: 目標・方策の見直し
 [100%] [80%程度] [60%程度] [40%程度] [30%以下]